

認知症の進行に合わせた「家族の心がまえ」や「ケアのポイント」

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患やお身体状況などにより経過は異なりますが、今後を見通す参考にしてください。家族や周囲の方が、認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切になります。

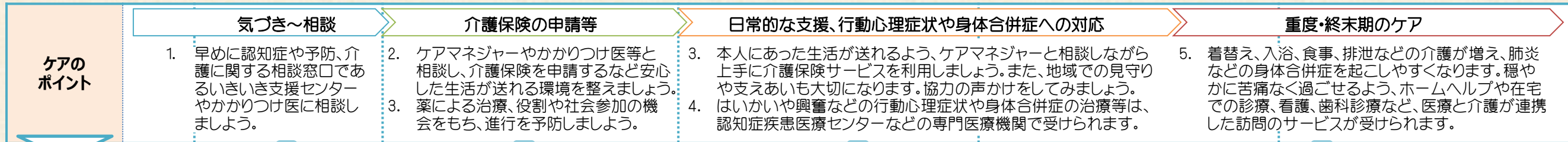
	健康	認知症の疑い	ひとりで生活ができる	見守りが必要	手助け・介護が必要	常に介護が必要
認知症の進行	—	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れが気になる お金の管理や買い物、書類の作成などはひとりでできる 	<ul style="list-style-type: none"> もの忘れにより生活しづらさがある 日付や時間がわからなくなる 買い物やお金の管理にミスが見られる 日常生活はなんとか行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物やお金の管理ができない 服薬管理ができない 電話の応対や訪問者の対応が困難 道に迷うことがある 	以下のことに手助け・介護が必要になる <ul style="list-style-type: none"> 着替え ・ 入浴 ・ 食事 ・ 排泄 整容(洗面・歯みがき・化粧) 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子・ベットでの生活が中心になる 食事をとることが困難になる 言葉による意思表示・理解が困難になる
本人の様子 (こんなことはありませんか(例))	—	<input type="checkbox"/> 重要な約束を忘れる <input type="checkbox"/> 新しい場所への旅行などが難しい	<input type="checkbox"/> 出来事を忘れる <input type="checkbox"/> 日時が分からない <input type="checkbox"/> 食事に客を招く段取りができない <input type="checkbox"/> 計画的な買い物ができない <input type="checkbox"/> 小銭での支払いができない <input type="checkbox"/> 意欲の低下 <input type="checkbox"/> もの盗られ妄想	<input type="checkbox"/> 直前のことを忘れる <input type="checkbox"/> 買い物ができない <input type="checkbox"/> 季節や場所が分からない <input type="checkbox"/> 季節にあった服が選べない <input type="checkbox"/> 家族とのトラブル <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 攻撃的な言動 <input type="checkbox"/> はいかい	<input type="checkbox"/> 着る順番が分からない <input type="checkbox"/> ボタンをかけられない <input type="checkbox"/> 体がうまく洗えない <input type="checkbox"/> 箸の使い方が分からない <input type="checkbox"/> トイレの失敗 <input type="checkbox"/> 顔が洗えない <input type="checkbox"/> 歯が磨けない	<input type="checkbox"/> 歩行が困難 <input type="checkbox"/> 介助にて椅子に移動 <input type="checkbox"/> ベットの上での生活が中心になる <input type="checkbox"/> 言葉を話すことができない <input type="checkbox"/> 言葉によるコミュニケーションが難しい <input type="checkbox"/> 食事のときにむせる <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 肺炎

家族の気持ち(例)

- ・否定、年齢のせい、言えばできるはず
- ・混乱 ・認知症状に振り回されてしまう、自分だけがなぜ、拒絶
- ・介護の疲れ
- ・割り切り ・受容 ・どう看取るのか

家族の心がまえ

- 早めにいきいき支援センターに相談しましょう。
- 認知症や介護について学ぶ機会を持ちましょう。
- 腹が立ってあたりまえ。ひとりで抱え込まないで、介護仲間をつくりましょう。交流会や電話相談がありますので、情報を得る機会をつくりましょう。
- どのような医療や介護のサービスがあるかを知って、早めに介護サービスを利用して、がんばりすぎない介護をこころがけましょう。
- 認知症を隠さないで身近な人には伝えて理解者や協力者をつくりましょう。
- 介護者があつての介護です。まずは自分のことや健康を大切にしましょう。
- 今後のことについて検討し、必要に応じて、施設の情報収集などは早いうちに行っておきましょう。
- 終末期のケアについて、早い段階で医師やケアマネジャー等と相談し、どういった対応が必要か確認しておきましょう。



本人・家族を支援する主な制度やサービス等

相談窓口	いきいき支援センター(認知症初期集中支援チーム)	ケアマネジャー
家族支援	認知症の人と家族の会	家族支援事業、認知症カフェ
介護福祉	ホームヘルプ などの訪問サービス	デイサービス などの通所サービス
	ショートステイ などの短期宿泊サービス	「通い」を中心に、「訪問やお泊り」を組み合わせ提供する「小規模多機能型居宅介護」もあります。
医療	かかりつけ医	【訪問診療】
	認知症サポート医	
	認知症疾患医療センター などの専門医療機関	
	訪問看護サービス	
	歯科医師・歯科衛生士	【訪問歯科診療】
	薬剤師	
生活支援	地域での見守りや支えあい活動、民生委員、認知症サポーター	
	生活支援サービス、社会福祉協議会、日常生活自立支援事業、成年後見制度	
予防	介護予防教室、趣味や特技を活かせる場、市民講座	
	地域での交流の場	
住まい	自宅	
	サービス付き高齢者向け住宅など	
	福祉用具・住宅改修	
	グループホーム	
		特別養護老人ホーム

※主な制度やサービス等の内容については裏面をご覧ください。